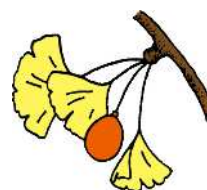




～みんなかがやく 富田っ子～

富田っ子だより 第14号

富田小学校 学校通信
令和3年12月14日(火)



1 年生活「あきのおもちゃやさん」 ～みんなで考えて作った遊び～

1 年生が生活科の学習で、ペットボトルや空き箱、霞公園で拾ってきたどんぐりなどを使って子どもたちが手作りの遊び道具を作りました。子どもたちがグループでいろいろと考え、試行錯誤しながら何度も試しながら修正を加え、完成品を作り上げました。

11月25日(木)には、学級単位で他の学級に移動し、みんなで遊びました。子どもたちは、自分たちが作った遊びに来てくれた友達に遊び方の説明をしっかりとっていました。どこにも売っていない手作りの遊びなのでうまくいかないこともありましたが、どの子も楽しく遊ぶことができました。



【魚つりやさん】



【あきのボウリング】



【どんぐりめいろ】

人権フォーラム ～「ちがいのちがい」から考えよう～



11月29日(月)、富田中学校を会場に、富田中学校区人権フォーラムが行われました。この取り組みは、毎年、市内の中学校区で行われているもので、多くの中学校区で小学6年生と中学1年生の子どもたちが一緒になって人権について考える機会としています。今年度、富田中学校区では、小中学生が24のグループに分かれて、「ちがいのちがい『あなたは思う?』」について意見を交流しました。当日は、下記に紹介した6つの事例をもとに、あってもよいちがいか、あってはいいないちがいか、について小中学生で意見を出し合いました。

子どもの人権意識が問われる事例であり、意見交流を通してこれまで持っていた人権意識について考える時間になったと思います。差別や偏見につながる可能性があることに気づき、自らの人権意識を問い直すよい機会になっています。保護者の皆さんは6つの事例についてどのように思われますか。ぜひ、お家でお子さんと話してみてください。子どもたちのいろいろな考えが聴けるよい機会になると思います。

ちがいのちがい 「あなたは思う?」

次のちがいは、あってもよいでしょうか。それとも、あってはいいないですか?

○→「あってもいいちがい」 ×→「あってはいいない」

		○×欄
1	日本では食事のときにおはしを使うが、インドでは指を使う。	
2	A駅には、車いす用のスロープがあるが、B駅にはない。	
3	内村さんの小学校は廃校になって、新しい学校まで90分歩かなければならないが、外村さんは小学校まで歩いて10分だ。	
4	日本の国会議員は女性比率が10%、男性が90%と圧倒的に男性が多い。	
5	親が子どもに、「A町の友だちとは遊んでもいいが、B町の友だちとは遊ばないように」と言う。	
6	野球部では、上級生はグラウンドの整備はしないが、下級生はいつも整備しなければいけない。	

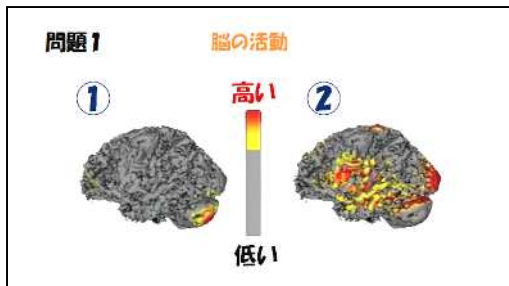
学校保健委員会 ～脳健康について～



12月2日(木)、「健康な体と心～With脳～」をテーマに、学校保健委員会を開催しました。本校では、家庭との連携のもと、子どもたちの健康保持・増進と健康安全の習慣形成をより一層推進していくために、毎年5・6年生と保護者を対象に開催しています。

近年、多くの子どもたちがSNSを利用しており、放課後や休日に多くの時間を費やすことに心配の声が聞かれるようになってきました。こうしたことを踏まえて、今年度はインターネットの利用と脳の成長との関係についてみんなで学ぶことにしました。

当日は、保健委員会の子どもたちが脳の役割について説明してくれたり、興味を持って学べるように脳に関係する問題を出してくれたりしました。何度か練習を重ね、丁寧にわかりやすく説明できていてとても素晴らしい発表をしてくれました。また、学校医の曾我かおり先生には、子どもたちの質問に答えていただいたり、ご助言をいただいたりしてとても充実した学校保健委員会となりました。

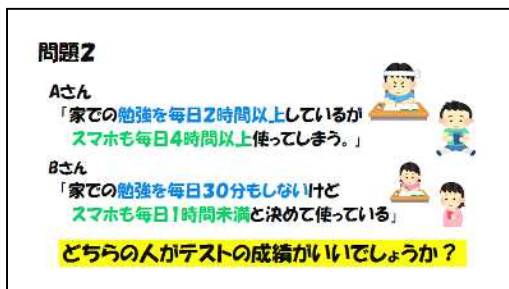


<問題1>

これは、脳が活動している様子を表した映像です。ゲームをしているときはどちらでしょうか？

【答え】

答えは①。こちらがゲーム中の脳です。ゲームは集中して頭を使っているようで、実は脳の少しの部分しか働いてないのです。ゲームが学習用であっても同じです。

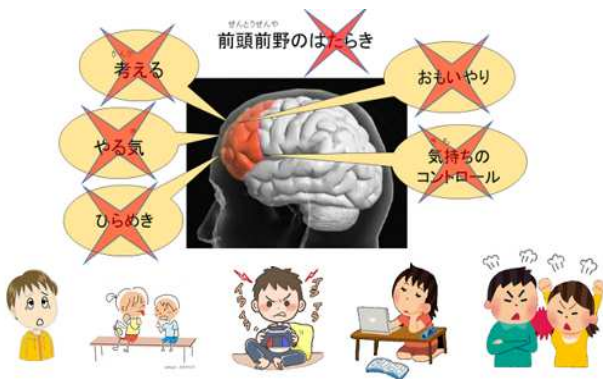


<問題2>

AさんとBさん、どちらの人が成績がいいのでしょうか？

【答え】

答えは、「家での勉強は毎日30分もしないけど、スマホ・携帯を使う時間を1時間未満と決めて使っている」Bさんです。勉強時間が短くても、スマホや携帯を1時間も使わないと決めている人のほうが成績はよかったです。



前頭前野の働きは、考えたり、やる気を起こしたり、ひらめいたり、思いやりの心を持ったり、気持ちのコントロールをしたりする大切なところです。「前頭前野」は動物は小さく、人間には大きくあります。しかし、小さな子どもは、この前頭前野がまだ未発達です。

スマホやゲーム等に多くの時間を使ってしまったり、からだを動かす習慣が少なかったりして前頭前野が働かず、鍛えられない生活を続けていると…。考えられない、やる気がでない、めんどくさい、イライラする、怒りっぽくなるなど、からだと心も健康に成長することができません。

四日市市シティプロモーションコミック贈呈式



11月25日(木)、本校にこにゅうどうくんが訪問し、市から四日市市シティプロモーションコミックを寄贈していただきました。

四日市市では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大四日市まつりや花火大会など不特定多数が集まる大規模イベントが中止となる中、現在開催を見合わせている「2020東海・北陸B-1グランプリ in 四日市」において、同グランプリの熱を絶やさない為に、YouTubeを活用した「漫画動画」の配信やスピンオフラジオドラマ「聴く漫画さすらいのこにゅうどうくん」などの事業を実施してきました。



本市の子どもたちにとって、少しでも明るい話題となるよう、また、本市を知り、本市をより好きになってもらえるよう、インターネット配信している漫画動画及びスピンオフラジオドラマを新たにコミック本として制作されました。